

平成30年度 長野県下諏訪向陽高等学校学校評価表(最終報告)

50 下諏訪向陽高等学校

■ 学校教育目標

- ① 高い進学目標を掲げ、一般入試に対応できる学力を身につけながら、個に応じた進路実現ができる学校を目指す。
- ② 学習活動と課外活動をともに重視した高校生活と、それを支える基本的な生活習慣と豊かな人間性の確立を目指す。
(文武両道と生活指導の充実)
- ③ 地域との交流・連携事業を積極的に推進し、地域と協働する高校を目指す。

■ 長期的教育目標

- ① 豊かな人間性を養い、知・徳・体の調和のとれた成長と主体的に社会に参画できる生徒の育成を目指す。
- ② 自主・自発的な学習態度を育成し、学力の充実とともに高い進路目標の実現を目指す。
- ③ 特別活動を充実し、文武両道による心身の練磨を目指す。
- ④ 地域に開かれ、地域と連携しながら、地域から愛され信頼される学校を目指す。

■ 本年度の重点目標

A:十分 B:おおむねよい C:不十分

- ① 生徒一人一人の個性と能力を伸ばし、主体的かつ協働的に価値を創造できる、自立した人間を育てる。(キャリア教育)

評価	B	I	授業・家庭学習を大切にさせ、基礎的な学力の充実・発展を図ることができたか。
	A	II	主体的に自己決定ができる力を養い、自己の進路目標の明確化と進路実現を図れるよう指導できたか。
	A	III	公共心を育て、思いやりと責任のある行動を大切にさせることができたか。

- ② いじめや体罰のない安心安全な学校づくりに努める。

評価	B	I	個人面接指導やアンケートを活用し、継続的に生徒の状況を丁寧に把握することができたか。
	A	II	高い人権感覚を持ち、厳しくも支え合える同僚性を基に、互いを律し、体罰を防ぐことができたか。
	B	III	問題が発生した場合は全職員で情報を共有し、早急な対応にあたることができたか。

- ③ 活力のある学校・特色ある学校づくりに努める。

評価	B	I	生徒の実態を踏まえ、多様な学力や進路に対応できる教材や教授法を研究できたか。
	A	II	生徒の自主活動を積極的に支援し、適切な助言・指導を行うことができたか。

- ④ 家庭・地域との連携を図るとともに開かれた学校づくりに努める。

評価	A	I	生徒が企画する地域連携事業を支援することができたか。
	B	II	実践した教育活動の報告を通して、学校評議員の学校関係者評価や外部評価を受けたか。
	B	III	保護者や地域住民を対象とした公開授業を積極的に実施したか。
	A	IV	協力依頼のある地域連携事業をとおして地域との交流を深めることができたか。
	B	V	家庭との一層の連携とPTA活動の充実を図ることができたか。

① 生徒一人一人の個性と能力を伸ばし、主体的に動ける自立した人間を育てる。(キャリア教育)

I 授業・家庭学習を大切にさせ、基礎的な学力の充実・発展を図ることができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【3学年】週3日SHRで漢字、古典単語、時事問題ドリルを実施。	時事問題のドリル学習を通して、現在社会で話題になっていることについて、自分なりに根拠を持って考える力の養成が図れた。	B
○	【3学年】進路希望調査や面談を通し、目標を明確化し、その実現のために援助した。進路通信を週1回のペースで発行し、意識高揚に努めた。	自分の目標に向けて努力を惜しまず、希望する進路の実現ができた生徒が多い。	B
○	【3学年】授業・HRで指導を継続的に実施した。	卒業が見えてきて、やや気が抜けてしまった所が見られたが、生徒は総じて落ち着いた生活を送ることができた。	B
○	【2学年】朝のSHRにて小テストを実施(漢字・英単語)	基礎学力が身についた成果なのか、7月の模試の結果は比較的良かった。	B
○	【1学年】SHRで小テストを実施。定期考査前の生活実態調査で家庭学習時間の調査を実施。	取り組みを1年間継続できた。生徒の学力向上意識を強化したい。	B
○	【理科】基礎的な内容を書き込み式の教材を使用し、課題で繰り返し出題することで定着をはかった。また、自作課題の内容を生徒の実態に合わせて改変した。	多くの生徒が教材および課題に取り組んだ。大学入試共通テストを見据えて、考える力の基礎力をつける方法を検討したい。	B

II 主体的に自己決定ができる力を養い、自己の進路目標の明確化と進路実現を図れるよう指導できたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【1学年】進路希望調査と面談により指導した。就業体験や施設見学への参加を呼びかけた。	進路意識に個人差があり、全員が明確な方針を持てるよう指導したい。	B
○	【2学年】進路講演会・出張大学模擬講義・進路研修会・スタディーサポート・マスターノート(志望事由書学習)	進路研究を積極的に取り組む生徒が増えてきた。	A

III 公共心を育て、思いやりと責任のある行動を大切にさせることができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【1学年】授業やHRにおいて、生活面での指導を継続的に実施した。	その場での適切な指導ができた。全体として落ち着いた学校生活を送ることができた。	B
○	【保健厚生】7月に「自殺予防」についての講演会を実施し、生徒ひとりひとりに自分の命を大切に、「こころ」が苦しくなった時には、周りの友人や大人に相談アすること、また友人のSOSに気付いた時に友人のために行動することの大切さを理解させた。講演後、友人のSOSに気付いた時、自分なら「どのような言葉をかけるか」ということを考えさせた。	事後アンケートでは、友人のSOSに気付いた時、「話を聞いてあげる」「共感する」などの意見が多く見られ、生徒たちに「命の大切さ」を理解させるとともに、悩んでいる友人に対して「どのように行動するか」ということを考えさせる機会を持たせることができた。	A
○	【2学年】毎日の清掃を担当も共に行い生徒がきちんと清掃をするよう指導した。	毎日清掃をする習慣はついたが、教員が言わなくてもできるようにさせたい。	B

② いじめや体罰のない安心安全な学校づくりに努める。

I 個人面接指導やアンケートを活用し、継続的に生徒の状況を丁寧に把握することができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【生活指導】立ち番、面談やアンケートの実施、日頃の生徒の様子等に注意を払い心配な事業に対しては、事実確認を行うなど迅速に対応できた。	今後はSNS等による問題が心配される。また、この問題は表面化しづらいことから、どのように対応していくか考え、また講話等で周知していきたい。	B
○	【3学年】年2回のアンケートの実施と普段からの情報収集を心掛けた。	問題となる事案もなく1年を終えることができた。	B
○	【2学年】4月・10月、担任による個人面接における指導。年2回の生徒実態アンケート・いじめに関するアンケートの実施。	担任による面接指導では、個々の生徒に応じた生活指導を行うことが出来た。今後も生徒の実態の把握のためにアンケートを実施し、生徒の規範意識の向上を考えたい。	B
○	【1学年】普段の観察や面談、各種調査で生徒状況の把握に努めた。	生徒状況を把握することができた。	B

II 高い人権感覚を持ち、厳しくも支え合える同僚性を基に、互いを律し、体罰を防ぐことができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【芸術】作品展示、発表をつづじた相互鑑賞	人の作品、発表の良い点を評価する姿勢が見られるので、継続していくことが必要。	A
○	【人権平和教育】憲法平和学習(学年ごと)、全校人権平和学習(映画「ドリーム」鑑賞)、人権平和学習(学年ごと)	複雑化、多様化する社会において高い人権感覚を持った大人へと成長させるために更なる努力が必要。	B

III 問題が発生した場合は全職員で情報を共有し、早急な対応にあたることができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【生活指導】問題発生時には、事実確認等の対応を迅速にするとともに、知り得た情報を全職員で共有し、問題に対応できた。一斉メール等の活用で不審者情報の提供により生徒への注意喚起ができた。	日頃の職員の呼びかけ等の効果もあり、問題行動の件数も減少した。生徒が安全に高校生活を送れるようさらに情報発信をしていきたい。	B
○	【1学年】問題行動や生徒間の人間関係によるトラブルを学年全体で共有し、担任を中心に指導した。	適切な指導により問題やトラブルを解決できた。	B

③ 活力のある学校・特色ある学校づくりに努める。

I 生徒の実態を踏まえ、多様な学力や進路に対応できる教材や教授法を研究できたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【進路指導】6月に進路研修会(1,2年)、キャリア教育セミナー(全校)、10月に出張大学模擬講義を実施。進路意識の高揚に努めた。	参加した時の前向きな気持ちを継続させて、より良い進路選択ができるようにすること。	B
○	【3学年】放課後学習室を毎日18時半まで開放したり、9月から補習授業を実施したり、学習する環境とその機会作りに努めた。夏季休業中は希望者補習を12日間実施。校外模試を9回実施し、学習への意欲向上に努めた。	目的意識を高く持って学習に取り組める生徒が相当数いた。	B
○	【2学年】いろいろなテーマでの小論文練習の指導を行った。	小論文指導は本校の生徒の進路実現にとって欠くことのできないものとするが、ほとんどの生徒が書ける内容を持っていないので指導が必要。	C
○	【1学年】夏季休業や向陽館土曜講座で希望者補習を開講した。	参加人数をいかに増やすかが課題。	B
○	【理科】3年生では進路指導、1,2年生では定期考査前の向陽館土曜講座補習を実施し、多様な進路へ対応できるよう取り組んだ。	基礎的な内容の定着がある程度見られた。考察力や発想力を向上させるために演習量を増やすなどの対応を検討したい。	B

II 生徒の自主活動を積極的に支援し、適切な助言・指導を行うことができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【3学年】生徒自治会役員の活動への意欲を尊重しながら、その助言・援助に努めた。	生徒自治会役員は自覚と責任を持って、その仕事に積極的に取り組めた。	B
○	【2学年】1学年・2学年合同合唱コンクールの実施	生徒の自主性を発揮することが見られ、集団の力がついたと思われる。	A
○	【2学年】修学旅行における個人、集団の活動計画作成の助言援助。	生徒一人一人が、集団生活における個人や班の行動の在り方を考えられるようになった。	A
○	【1学年】HR等で生徒会活動への参加を呼びかけた。	生徒自治会本部の活動に関わる生徒を1年生から出すことができた。	B

④ 家庭・地域との連携を図るとともに開かれた学校づくりに努める。

I 生徒が企画する地域連携事業を支援することができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【生徒会】向陽祭や「向陽生と遊ぼう」等、生徒が考えたアイデアを出来るだけ尊重し、必要最低限の助言を行った。また、問題が起こった時にすぐに手を出すのではなく、生徒たちが自ら解決できるよう支援した。	例年行っている地域連携事業であるが、前年と同じ内容にならないように工夫して、より良いものを作っていきたい。	A

II 実践した教育活動の報告を通して、学校評議員の学校関係者評価や外部評価を受けたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【教務】学校評議員会等での各事業の報告、および、各事業で新聞・LCV等のメディアに取材・報道の依頼を行った。	報告や各メディアの報道で活動を広く知ってもらえたと思う。	B

III 保護者や地域住民を対象とした公開授業を積極的に実施したか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【教務】4月のPTA総会の日程に合わせて、保護者・地域住民対象の授業参観・公開授業を行った。	新入生の保護者を中心に参加をいただいた。	B
○	【教務】8月の中学生体験入学の日程に合わせて、地域住民へも授業公開を実施した。	多くの中学生・保護者の方に参加し、向陽高校の教育活動を理解してもらえる機会となった。	B

IV 協力依頼のある地域連携事業をとおして地域との交流を深めることができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【芸術】町の図書館活動への協力、町の成人式激励書道、町の3保育所での園児との交流	継続していきたい	A
○	【生徒会】三角八丁のイベント補助やハロウィンパレードの先導、ガーデンプロジェクト、イルミネーション等で地元の子どもたちや役場の方々、参加して下さった地域の方々との交流を深めた。	地域の方々から支えられていることを常に意識し、しっかりとした態度・言動をしていくことを心掛けていけるとよい。	A
○	【1学年】学年通信、進路通信を発行し、保護者への情報提供を行った。	情報配信システムを活用し、保護者に確実に伝わるようにしたい。	B
○	【教務】体験入学に参加できなかった生徒向けに、10月に学校見学会を行った。	体験入学に引き続き参加した生徒も多く、より多くの中学生に学校を知ってもらう機会となった。	A
	【教務】向陽坂通信の発行により、地元(諏訪地区)の中学校へ情報を発信した。	中学生の進路選択の参考にしてもらえたと思う。	B
○	【教頭/教務】本校のHPにWEB日記を開設し、日々の生徒の様子を発信。	通信や公開授業だけでは伝えることができない日々の活動を紹介できたと考える。	A

V 家庭との一層の連携とPTA活動の充実を図ることができたか。

	実施した具体的取り組み	成果と今後の課題・改善策・向上策	評価
○	【PTA】年間計画に基づき、各家庭に通知して、参加協力を募った。PTA会報以外は、例年通りに事業を実施できた。	PTA総会や地区懇談会はほぼ例年通りの参加であった。他の事業(環境整備事業、ソフトバレーボール大会、講演会など)の参加者数を増やす工夫を考えていきたい。	B
○	【3学年】進路通信、学級通信などを発行し、保護者への情報提供を実施した。	概ね好評であり、有効な情報を提供できた。	B